

綿向山が好き

綿向山を愛する会



たけむら くにお
代表 竹村久二夫さん(寺尻)

日野町では、町のシンボルである綿向山の標高1,110メートルにちなみ、11月10日を「綿向山の日」と制定し、今年で21年を迎えます。21年前、制定のために働きかけを行い、現在も綿向山の登山道の清掃活動や古くなった標識の新調、山小屋の掃除などの活動をしておられるのが『綿向山を愛する会』の皆さんです。今回は、代表の竹村久二夫さんにお話を伺いました。

綿向山を愛する会とは

綿向山を愛する会は事業部、広報部、研修部の3つの部会があります。広報部では会報「鹿笛」を発行されており、四季折々の綿向山の様子等を伝えておられます。研修部では「綿向山の頂上から見える山に登る」をテーマに、様々な山への登山を計画し、会員

の皆さんで登られています。事業部では年に2、3回清掃活動や整備を行い、登山しやすい環境づくりをされています。「登山者から『きれいに整備されていて登りやすいです。ありがとうございます』と声をかけていただくと嬉しく、やりがいが出る」そうです。

仲間と楽しく山の活動を

「綿向山を愛する会は綿向山を中心にして、楽しく山の活動をしたり、仲間作りをしたい人達の集まり」と竹村さん。「山の会と聞くと、本格的な登山者の集まりに思われるかもしれませんが、実際はそうではない人もいます。私も綿向山ほどの高さの山にしか登ったことがないですし、研修で登る山も普段の格好で登れる山ばかりです。もちろん、山好きの集まりですので、情報交換を行ったり仲間を作ったりして、様々な山にチャレンジしておられる会員も多くおられます」とお話しいただきました。

また、「11月10日のふれあい綿向山Dayなどのイベントをきっかけに、一度は綿向山に登っていただき、頂上からのすばらしい眺望などを知っていただきたい」と話されました。



▲会員の皆さん(昨年の綿向山の日の様子)

『ふるさと日野の歴史』

追加配布のお知らせ



日野町では、町の自然・歴史・文化をまとめた『ふるさと日野の歴史』を刊行しました(A4版・フルカラー・159ページ)。

希望世帯に配布させていただいたところ、ご好評をいただき、町外在住の兄弟や親戚にも渡したいとの声を多数いただきました。

こうしたご要望にお応えし、日野町在住者の町外の親族(兄弟親戚)、および日野町出身の町外在住者向けに配布させていただきました。希望される世帯は、申込用紙に住所・氏名・希望冊数(1世帯3冊まで)を明記のうえ、近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」または生涯学習課へお申し込みください。申込用紙は、各窓口に備え付けています。

◆ 問い合わせ先 ◆

ふるさと館

生涯学習課生涯学習担当

☎ 0748-520008

☎ 0748-521656





日野町地域おこし協力隊活動記

日野町では、平成27年度から谷口智哉さんと鵜瀬ゆりさんの2名が地域おこし協力隊として活動しています。

このコーナーでは、地域に根ざし、新たな風を吹き込む隊員とその活動、想いを紹介します。



鵜瀬 ゆりさん

10月は棧敷窓アートや氏郷まつり、日野の伝統料理を継承する会の方とのイベントが盛りだくさんでした。地域の方とお話をする中で、「旧山中正吉邸にまだ行ったことがないのよねえ」というお声をまだまだお聞きします。

まずはふるさと館にある「棧敷窓」。そこから日野祭について、さらに日野の商人文化について触れることができます。次に立派でモダンな金庫は、近江日野商人の豊かさを、また、だるま部屋では、近江日野商人が教養を重んじていたことを伺い知ることができます。その他にも、

スタンドグラスのある浴室や洋室



谷口 智哉さん

地域おこし協力隊として任期終了後も定住するために「生業」仕事を見つけ、生活できる収入を得る道筋をつくることも着任前から大きな課題です。

美しさに一目惚れしたことや住居が鎌掛であったこと、前職が営業職であり他のことに挑戦したいと考えていたことから、日野菜を中心とした農業を生業として行きたいと考えています。

着任初年は日野菜作りの大先輩の指導のもと、4アールの畑で日野菜を栽培・出荷してある程度の自信が付いたため、今年は畑の面積を14アールに増やして日野菜を栽培する予定でしたが、なかなか思い通りには行かず、農業で生計を立てることの難しさを痛感しています。



しかし、この町が誇る日野菜をもっといろんな人に知ってもらいたい、原産の地である日野町での生産量を増やしたいという強い想いがあります。これからもいろいろな壁はあると思いますが、当初の目的を忘れず、めげずに日野菜の栽培に取り組みで行きたいと思っています。



は新しいものを取り入れるセンスを感じられ、新座敷はおもてなしの心を感じ取ることができません。本当に素敵な建物なので、ぜひ一度足を運んでみてください。

なお、ふるさと館では毎月一回、「ふるさとランチ」を開催し、手作りの伝統料理を召し上がりながら、館内でのんびりお過ごしいただけます。11月の開催は20日(日)で、料金は千円(入館料込)です。

隊員の活動は、日野町ホームページでも確認できます。これからも地域で活躍する地域おこし協力隊にご期待ください！

問い合わせ先 ◆ 商工観光課 ☎0748-52-6562



ひのっこだより



日野町内の幼稚園や小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

南比都佐幼稚園

教育目標

遊びいっぱい・笑顔いっぱい・
学びいっぱい!

本園は園児数22名(3歳児10名、4歳児10名、5歳児2名)の小さな幼稚園です。保育室や遊戯室が大きくゆったりしています。また、小学校のグラウンドと幼稚園の園庭がつながっていて広々としたところで遊んでいます。今年から3歳児保育が始まり、ますます賑やかな幼稚園となりました。近くには田んぼや水路、丘、山などがあり自然がいっぱいのところで全身を使って遊び、体幹を育てています。モロコやメダカ・ザリガニ・ドジョウなどを捕まえる事もでき、子ども達が保育室で大事に育てています。



●メダカやドジョウ・ザリガニがつかめるよ!
●丘の上でブランコ。見晴らし最高、気持ちいいよ!



●ドジョウつかまえるぞ!
●丘からジャンプ!



●小学校の先生に教えてもらって小学校の水泳。貝拾いをしたりとっても楽しいよ!
●1年生の人と一緒に小学校の砂場で遊んでもらったよ。スケールが大きい!

本園と小学校は休み時間に自由に行き来をしています。このような環境はとても貴重なものです。1年を通して様々な交流をし、小学生をいつも見ながらあこがれを感じ「あんなお兄ちゃんやお姉ちゃんになりたい」と、とっても良い刺激をもらいながら園生活を送っています。

西大路幼稚園

小規模だからできることを大切にしています。
『異年齢児・他園・小学校・地域との交流活動』
『子ども達の心に響く身になる体験』
『一人一人のよさを生かした教育の推進』



地域の音羽城址にて



西大路幼稚園ならではのダイナミックな雪あそび!

豊かな心をもち 生き生きと生活する幼児の育成

教育目標

- ☆にこにこ 明るく元気に遊び、人に優しく思いやりのある子ども
- しっかり 人の話に耳を傾け、あいさつ・返事がしっかりできる子ども
- おおきな 自分で考えて、最後まで頑張る事ができる子ども
- じしん 自分のことが大好きで、様々な形で思いを表現できる子ども



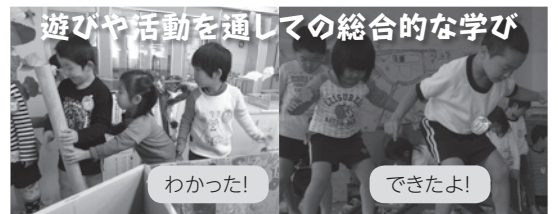
だいすき!

4・5歳児での異年齢や小学生、また他園児や地域の方などの交流の中で、自分と違う思いや考えに触れたり、相手の気持ちに気づき相手の立場で物事を考えたりして、人とのコミュニケーションのとり方について、たくさんの経験を通して学んでいます。



かんじるよ!

子ども達が体験を通して知り得たことが就学後の学習につながります。幼児期に多くの心に響く体験を積み重ねることが、学習理解を深めていきます。また、学習に向かうための心の育ちを大切にしています。



わかった!

できたよ!

子ども達は生活や遊びでの一つ一つの経験を様々な場面につながっています。ひとり一人の得意な部分や苦手な部分をしっかり見極め、適切な援助に努めることが、子ども達の心と体の健やかな成長につながると考えています。今年度の園児数は、日野地域からの5名を含め5歳児16名です。区域外の方もぜひ一度、保育見学にお越しいただき、小規模園の雰囲気を感じてください。

*町では、居住地によって通園・通学できる幼稚園・小学校を定めていますが、特例により町内のほかの幼稚園・小学校へ通園・通学し、小規模校園の特色を活かした授業を受けることができる「通学区域の柔軟化対応モデル事業」を行っています。詳しくは教育委員会事務局学校教育課または各小学校へお問い合わせください。

問い合わせ先 ◆ 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564